

1・2年

低学年の授業の進め方

体育主任向け

低学年では、2つのミニゲームを用いて「鬼遊び的なフラッグフットボール」を展開していきましょう。

授業の進め方

低学年の段階では、鬼遊び的なフラッグフットボールの授業づくりを行うことで、運動の苦手な子どもたちでもフラッグフットボールの面白さを味わうことができます。守りの間をすり抜けて、ボールを運び込む「ボール運び鬼」などが教材例としてあげられます。

また、低学年の子どもたちは、個人の達成感を優先する傾向がありますので、集団でのかかわり合いをうまく引き出せれば、より良い授業となっていきます。

単元計画の例

1	2	3	4	5	6
① 準備運動・学習の準備					
② 学習内容の確認			② スキルゲーム みんなでしっぽとりゲーム		
③ スキルゲーム みんなでしっぽとりゲーム			③ 学習内容の確認		
④ ゲーム（前半） ボール運び鬼			④ ゲーム1 ボール運び鬼		
⑤ ゲームのふりかえり					
⑥ ゲーム（後半） ボール運び鬼			⑥ ゲーム2 ボール運び鬼		
⑦ 学習のまとめ					

つまづきポイント

Q、なかなかチームで協力できない。

A、低学年の子どもたちは、個人の達成感を優先する傾向があります。まずは個人をほめて次の運動へのモチベーションを高めさせましょう。

集団教育の学習方法として、「みんな〇〇さんを見た？こんな風に工夫していたよ！」といった声かけを行ってもいいでしょう。

低学年の指導計画案（2時間目）

本時の目標

【技能】

鬼のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。

【態度】

友達と仲よくゲームをしたり、用具の準備や片付けを一緒にしたりすることができる。

【思考・判断】

鬼遊びの行い方を知り、楽しくゲームができる場や得点の方法などの規則を選ぶことができる。

0分

集合・挨拶・体操

手首や足首を
丁寧にほぐそう。

アキレス腱を
しっかりとのぼそう。

体（からだ）全体を
大きく使って
じゃんけんポン！

●体（からだ）じゃんけん

2分

学習の準備

フラッグの余りを
ズボンに入れるか
ベルトに巻きつけよう。

●フラッグとゼッケンをつける。

●ボール運び鬼のコートにコーンと宝箱を置く。

友達と協力して
準備できてるね。
ありがとう！

5分

学習内容の確認

フラッグを取ったり、とられないように動きながらゲームを楽しむ

前の時間の授業を振り返らせ、本時で学習する内容（ねらい）を確認させます。

学習の進め方や
フラッグの付け方
について知る

10分

スキルゲーム

みんなでしっぽとりゲーム（個人戦とチーム戦）

フラッグを手で
押さえたらダメだよ。

友達と協力して
相手のフラッグを
取ってみよう！

相手をかかわず動きも
意識しよう。

チームで声を
掛け合って協力しよう。

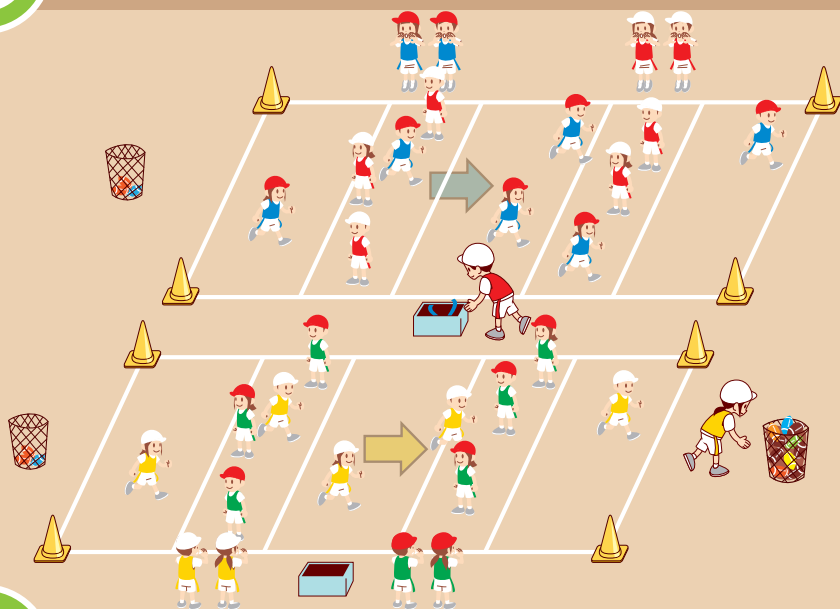
フラッグを取るときに
ぶつからないように
まわりをよく見よう。

子どもたちの人数や学習の進み具合によりコートの大さを、コーン等を四隅に置いて調節して行いましょう。

20分

ゲーム (試合)

ボール運び鬼 開始前にゲームの進め方を確認



すばやく走り抜けよう。

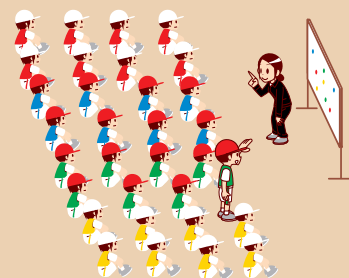
鬼がいないスペースをうまく見つけたね。

28分

ゲームのふりかえり

前半のゲームをふりかえり、みんながボールを運ぶための方法を話し合う。

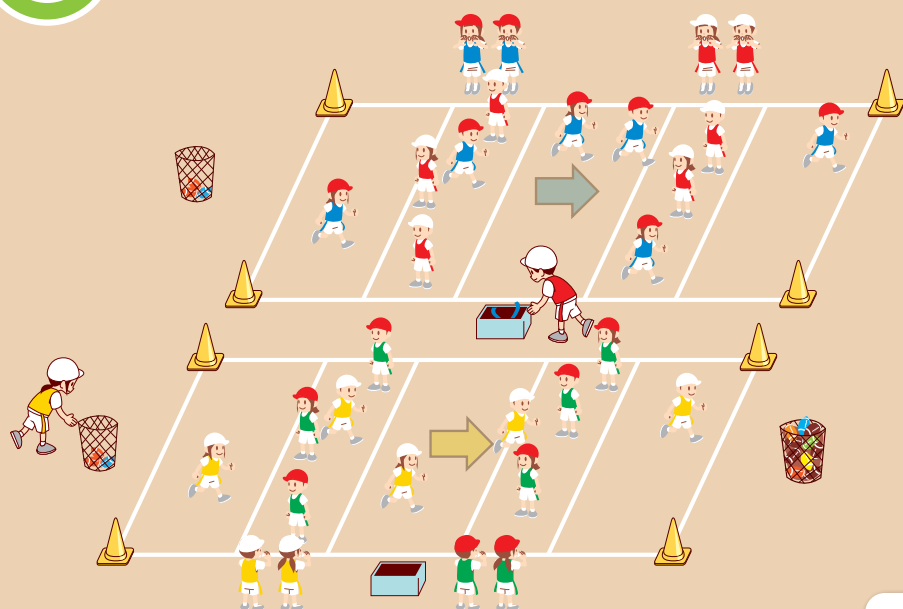
みんなが楽しくゲームできるように得点の方法などの規則を工夫する。



32分

ゲーム (試合)

ボール運び鬼



鬼がフラッグを箱に入れている間は通り抜けやすいよ。

まわりをよく見ながらフラッグを取ろう。

38分

学習のまとめ

- チームごとに振り返りを行い、副読本や学習カードに記入する。
- ゲームの感想や友達の良かったところを発表する。
- 対戦結果を確認する。

ゲームは楽しかったかな？
フラッグをうまく取れたかな？

〇〇のチームはよい動きでしたね。
〇〇さんの声かけはとてもよかったね。

